

2023 年度堀内賞候補者の推薦募集

日本気象学会の堀内賞（1998 年度より堀内基金奨励賞を堀内賞と名称変更）は、「主に気象学の境界領域・隣接分野あるいは未開拓分野における調査・研究・著述等により、気象学あるいは気象技術の発展・向上に大きな影響を与えているもの」（堀内賞受賞者選定規程より抜粋）に贈られる賞です。

堀内賞候補者推薦委員会は会員からの推薦ならびに委員会独自の調査をもとに同賞候補者を選定し、理事長に報告します。

これまでの受賞者は

- ' 88 年度：深尾昌一郎（京都大学），
松井孝典・阿部 豊（東京大学）
- ' 89 年度：花輪公雄（東北大学），
内藤勲夫（国立天文台）
- ' 90 年度：近藤 豊（名古屋大学），
吉川久幸（気象研究所）
- ' 91 年度：大村 纂（スイス連邦工科大学）
- ' 92 年度：及川武久（筑波大学），
山田道夫（京都大学）
- ' 93 年度：岡本謙一（通信総合研究所），
巻出義紘（東京大学）
- ' 94 年度：津田敏隆（京都大学）
- ' 95 年度：竹内謙介（北海道大学）
- ' 96 年度：山中康裕（東京大学），
田平 誠（愛知教育大学）
- ' 97 年度：川村 宏（東北大学），
神沢 博（国立環境研究所）
- ' 98 年度：忠鉢 繁（気象研究所）
- ' 99 年度：松枝秀和（気象研究所），
原藺芳信（農業環境技術研究所）
- ' 00 年度：小池俊雄（東京大学），
- ' 01 年度：久保田雅久（東海大学），
小池 真（東京大学）
- ' 02 年度：河村公隆（北海道大学），
林田佐智子（奈良女子大学）
- ' 03 年度：井上 元（国立環境研究所），
松田佳久（東京学芸大学）
- ' 04 年度：福西 浩（東北大学），
若土正暁（北海道大学）
- ' 05 年度：倉本 圭（北海道大学），
青木周司（東北大学）
- ' 06 年度：横内陽子（国立環境研究所），

- 見延庄士郎（北海道大学）
- ’ 07 年度：阿部彩子（東京大学），
田近英一（東京大学）
 - ’ 08 年度：大島慶一郎（北海道大学），
橋口浩之（京都大学）
 - ’ 09 年度：藤井理行・本山秀明（国立極地研究所）
渡邊興亜（総合研究大学院大学），
三枝信子（国立環境研究所）
 - ’ 10 年度：三好勉信（九州大学）・
藤原 均（東北大学），
石井正好（気象研究所・海洋研究開発機構）
 - ’ 11 年度：中島 孝（東海大学）
島田浩二（東京海洋大学）
 - ’ 12 年度：伊藤昭彦（国立環境研究所）
江守正多（国立環境研究所）
 - ’ 13 年度：野中正見（海洋研究開発機構）
横田達也（国立環境研究所）
 - ’ 14 年度：町田敏暢（国立環境研究所）
羽角博康（東京大学）
 - ’ 15 年度：川村賢二（国立極地研究所）
井口俊夫（情報通信研究機構）
 - ’ 16 年度：米山邦夫（海洋研究開発機構）
Prabir K. Patra（海洋研究開発機構）
 - 17 年度：杉本伸夫（国立環境研究所）
青木 茂（北海道大学低温科学研究所）
 - 18 年度：鶴田治雄（リモート・センシング技術センター）
芳村 圭（東京大学）
 - 19 年度：金谷有剛（海洋研究開発機構）
 - 20 年度：牛尾知雄（大阪大学）
須藤健悟（名古屋大学）
 - 21 年度：田村岳史（国立極地研究所）
飯泉仁之直（農研機構）
 - 22 年度：建部洋晶（海洋研究開発機構）
羽島知洋（海洋研究開発機構）

の 68 氏です。

詳細は、学会のホームページをご覧ください。
(<https://www.metsoc.jp> →気象学会の表彰→堀内賞)

つきましては、規程の主旨に沿う最も適切な候補者を選定するための参考資料として、下記の通りひろく会員からの推薦（自薦も歓迎）を募りますので御協力をお願い申し上げます。

日本気象学会堀内賞候補者推薦委員会

三好建正(委員長), 牛尾知雄, 高谷康太郎,
野中正見, 芳村 圭

記

1. 推薦期限 2023年3月31日(木)

2. 宛先

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-6-9 気象庁内
(公社) 日本気象学会
堀内賞候補者推薦委員会

注: メールでも推薦を受け付けます。下記のアドレスにお送り下さい。数日以内に受領確認のメールを差し上げます。

award@metSOC.jp

3. 推薦書記入事項

- (a) 候補者所属・氏名
- (b) 推薦する研究業績名(1行程度)
- (c) 推薦理由(「境界領域・隣接分野」あるいは「未開拓領域」の研究業績であることの説明を含むこと。特に、当該分野の世界的な研究の動向や今後の研究課題などを踏まえて、候補者の研究業績が当該分野に与えたインパクト、気象学および気象技術の発展・向上への貢献度などについて記述すること。)
- (d) 主たる論文リスト(必要に応じ、新技術開発, 研究プロジェクト立案・推進など, 研究業績の総合評価に有益な資料を加えてもよい。)
- (e) 推薦者所属・氏名